

# VUCA時代における諸課題への 分野横断的アプローチ

## 参加費無料

どなたでもご参加いただけます

現地参加  
会場定員 **70名**

Zoomによるオンライン  
配信も行います

## 開催日時・会場

令和4年

**11月26日** (土)

13:30~17:10

香川大学 **オリーブスクエア  
多目的ホール**  
香川県高松市幸町1-1

## 申込方法

定員となり次第、現地参加の受付は終了します

現地参加、Zoomによるオンライン  
参加とも11月22日  
(火)までに下記URL  
または右のQRコード  
より、事前申し込み  
をお願いします。



[https://forms.office.com/  
r/R4DHD2gXFJ](https://forms.office.com/r/R4DHD2gXFJ)

現代は、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字からVUCA時代とも称されます。こうした現代社会が直面する様々な課題に対しては、異なる分野の知見を組み合わせることが解決の足がかりになると期待されます。本講演会では、VUCA時代における分野を横断した様々な課題に対して学術的にどのようにアプローチできるか、また、分野横断的なアプローチがこれらの課題に対して、どのような新しい解を見つけ出すことができるのか、その成果を報告します。

## program

### 開会挨拶 13:30~13:45

高村ゆかり(日本学術会議副会長、東京大学未来ビジョン研究センター教授)  
箕 善行(香川大学長)

### 趣旨説明 13:45~13:50

堤 英敬(日本学術会議連携会員、香川大学法学部教授)

### 講演 13:50~17:00

創発的アプローチの重要性と実践への取り組み ~ 板谷和彦(香川大学地域マネジメント研究科教授)  
ICF(国際生活機能分類)と新しい能力観を考える ~ 坂井 聡(香川大学教育学部教授)  
医療の高度化と生命をめぐる法的課題 ~ 平野美紀(香川大学法学部教授)

### 15:20~15:30 (休憩)

地方のまちなか再生をめぐる分野横断の必要性と課題点 ~ 西成典久(香川大学経済学部教授)  
災害軽減のための分野横断的アプローチ ~ 梶谷義雄(香川大学創造工学部教授)  
高齢者にとっての災害公営住宅の暮らしやすさ ~ 中島美登子(香川大学創造工学部准教授)

### 閉会挨拶 17:00~17:10

相田美砂子

(日本学術会議第三部会員、中国・四国地区会議運営協議会代表幹事、広島大学特任教授・学長特命補佐)

お問い合わせ先：香川大学 学術部研究協力課 TEL：087-832-1311 E-Mail：vuca-h@kagawa-u.ac.jp

※ 新型コロナウイルス感染症の状況次第では、延期・中止・開催方法の変更等の措置をとる場合もあります。また、感染拡大予防ガイドライン等に基づく適切な感染防止策を講じます。(参加者には、マスクの着用など、感染拡大防止対策の徹底に御協力いただきます)

※ 駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用下さい。